

欧州委員会—プレスリリース



ニューアプローチによって、価値とレジリエント/グリーン/デジタルな単一市場を促進する EU 規格のグローバルリーダーシップを可能に

ブリュッセル、2022年2月2日

本日、欧州委員会は新しい**標準化戦略**を発表し、単一市場域内及びグローバルに規格にどうアプローチするかの概要を示す。この戦略は、標準化に関する規制の改定の**提案**、実施に関する**レポート**、及び**欧州における標準化のための2022年の年次欧州標準化作業プログラム**を伴うものである。この新しい戦略は、EUのグローバルな競争力を強化し、レジリエント/グリーン/デジタルな経済を可能にし、技術利用に民主的価値を帯びさせることを目的としている。

規格は、EU単一市場及びグローバルな競争力にとっての寡黙な基盤である。規格は製造業者が製品及びサービスの相互運用性を確保し、コストを削減し、安全性を向上させ、イノベーションを促進することに役立つものである。規格は眼には見えないが、私たちの日常生活の基礎的な部分である。ほんの数例を挙げると、Wi-Fi周波数から、そこに接続される玩具やスキーの締め具に至るまで。規格は製品又はサービスが目的に適合し、安全で人や環境に害を及ぼさないことに確信を与える。整合規格の順守は、製品がEU法に準拠していることを保証する。

イノベーションのペースの速さ、グリーンとデジタルに関する私たちの野心、さらにEUの民主的価値に対する技術規格の意義により、標準化への戦略的アプローチがますます求められている。気候中立で、レジリエントで循環する経済へのEUの野心は、欧州規格なしには実現できない。EUがグローバル規格の設定者であり続けるためには、標準化活動で強いグローバルな地位を有し、主要な国際フォーラムと機関における作業を主導することが不可欠である。EUはグローバル規格を策定することによって自らの価値を輸出し、重要な先行者利益をEUの企業に与えることになる。

デジタル時代のヨーロッパ戦略(a Europe fit for the Digital Age)の執行副社長(executive vice president)である**Margrethe Vestager**は、次のように述べている：「人工知能においてデータを確実に保護すること、あるいはモバイルデバイスをハッキングから確実に保護することは規格に依拠するものであり、それはEUの民主的価値と一致しなければならない。同様に、私たちには、水素やバッテリーのような重要な投資プロジェクトを展開し、重要な先行者利益をEUの企業に与えることによってイノベーション投資の価値を高めるような規格が必要だ」

域内市場担当委員(Commissioner for the Internal Market)の**Thierry Breton**は、次のように言う：「技術規格は戦略的な重要性をもっている。欧州の技術的主権、依存度を減らす能力、それにEUの価値の保護は、グローバルな規格の作成者である私たちの能力に左右される。今日の戦略によって、私たちは標準化の優先順位を明確にし、欧州規格がグローバルベンチマークとなるような状態を生み出す。私たちは欧州の中小企業と欧州の利害を中心に据え、欧州の標準化プロセスの完全性を維持するための行動をとる」

本日提示する戦略は、次の重要な五つの行動をまとめて提案するものである：

- 1. 戦略的分野における標準化のニーズの予測、優先順位付け及び対処**：欧州のイノベーション及び政策アジェンダに合わせて、標準化をより迅速に行う必要がある。欧州委員会は、COVID-19ワクチン及び医薬品の製造、重要な原材料のリサイクル、クリーンな水素のバリューチェーン、低炭素セメント、チップ認証並びにデータ規格に関して、標準化の緊急性を明らかにしている。標準化の優先順位が今年、欧州の標準化のための2022年の年次欧州連合作業プログラムにおいて明確に定められることになる。将来の標準化の優先順位に関する情報提供のためには、ハイレベルフォーラムが設立される。欧州委員会は、標準化活動に関する委員会全体にわたるハイレベルの手引を得るための標準化最高責任者(Chief Standardisation Officer)の機能を確立して、これを欧州委員会の奉仕で構成される規格に関するEUエクセレンスハブによって支援する。
- 2. 欧州標準化システムのガバナンスと完全性の改善**：EUの政策と法律を支援する欧州規格は、欧州のプレイヤーによって決定されなければならない。欧州委員会は、欧州標準化システムのガバナンスを改善するために、標準化に関する規制の改定を提案している。欧州システムはオープンで透明性をもち、包括的で公平で

あり続ける一方、欧州の標準化組織に欧州委員会が要請する際の付託は EU 及び EEA 加盟国からの国の代表者、すなわち、各国の標準化機関が取り扱わなければならないと、この提案は規定している。これは、サイバーセキュリティや水素規格のような主要分野の規格を作成する際意思決定プロセスにおいて、EU 及び EEA の外部からの当事者による不適切な影響を回避させるものである。欧州委員会はさらに、このシステムの包括性と中小企業や市民社会の役割に細心の注意を払う。欧州委員会は、欧州の標準化組織に彼らのガバナンス構造を現代化することを要求し、市民社会やユーザーに対する包括性を高め、標準化に関し中小企業に親しみやすい状態を作るために、加盟国と国内標準化機関との間でピアレビュープロセスを開始する。同時に、委員会は標準化に関する規制の評価を開始する。

3. **グローバル規格における欧州のリーダーシップの強化**：欧州委員会は、ハイレベルフォーラムを通じて情報を共有し、国際標準化への欧州のアプローチを調整し強化するために、EU 加盟国と各国標準化機関との新しいメカニズムを設定する。欧州委員会は、EU 加盟国と志を同じくするパートナーとの間の調整をさらに高めることも求める。EU はアフリカ諸国及び近隣諸国の標準化プロジェクトに資金提供を行う。
4. **イノベーションの支援**：欧州委員会は、標準化活動を通じてイノベーションプロジェクトの価値を高め、初期の標準化ニーズを予測するために、EU が資金提供する研究の可能性をより良く活用することを提案している。ホライズン 2020 及びホライズンヨーロッパの下で、研究者がそれらの標準化の結果の妥当性を検討することを支援する“標準化ブースター”が開始される予定である。2022 年半ばまでには、標準化に関する研究者のための実施要領規範の作成が、標準化と欧州研究領域(ERA)を通じた研究/イノベーションとの間の結び付きを強化するために開始される。
5. **次世代の標準化専門家の育成**：規格は最良の専門家に依拠するものであり、欧州は世代交代に直面している。欧州委員会は、例えば EU の大学の日(ユニバーシティ・デイズ)の将来の組織及び研究者の訓練を通じて、規格に関する学術的認識を高めることを促進する。

背景

今日、規格はグローバルな重要事項になっている。他の地域は、より戦略的で積極的であることによってグローバルな立場を強化している。こうした課題に対応するために、欧州の標準化システムを進化させる必要がある。新しい標準化戦略と標準化規制の法的調整に関する欧州委員会の計画が、欧州委員会の‘2020 年の新たな産業戦略の更新：欧州復活のためのより強力な単一市場の構築’で発表された。

整合規格は、欧州委員会からの要請に応じて、承認されている欧州規格開発機関(CEN, CENELEC 又は ETSI)によって作成された欧州規格である。いったん承認されると、これらの規格は EU 法の一部となり、単一市場全体においてそれらを使用する製造業者に EU 法の要求事項への適合の推定を与え、中小企業のコスト削減に役立つ。このプロセスは、委員会と標準化コミュニティとの間の官民パートナーシップに基づいており、その役割と責任の割り当ては 2012 年の標準化規制によって示されている。

詳細情報について

標準化に関する EU 戦略についての [Q&A](#)

標準化に関する EU 戦略についての [ファクトシート](#)

[標準化に関する EU 戦略](#)：レジリエント／グリーン／デジタルな EU 単一市場を支援するグローバル規格の策定

欧州規格及び欧州標準化の成果物に関する欧州標準化組織の決定に関わる規制(EU) No 1025/2012 を修正する欧州議会及び理事会規制の [提案](#)

[2015 年から 2020 年までの規制\(EU\) No 1025/2012 の実施に関する欧州議会及び理事会への委員会報告](#)

[欧州標準化のための 2022 年の年次欧州連合作業プログラム](#)

Twitter でのフォローは [@EU_GROW](#)